

【重点目標3 重点取組評価シート】

基本方針	県民の自主的、自発的な活動を支援し、学習機会の提供、学習成果の活用に努めるとともに交流・創造の拠点としての機能を高める。				
重点目標3	県民への学習機会の提供の充実				
重点取組	様々な学習機会の提供による自主的な活動の支援、交流機会の創出				
1 総合評価	R1年度	5	5: 目標を上回っている 4: 目標に達している 3: 目標の8割以上達している 2: 目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1: 目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度	2			
	R3年度				
2 評価理由	<p>新型コロナウイルス感染症対策に係る臨時休館、連携先の集会活動の停止等により、半数近くのイベントを中止(又は延期)*し、開催したイベントについても、人数制限等を行った。</p> <p>その結果、3つの目標のうち、事業開催回数(目標値の64%)、参加者数(同27%)の2目標について目標値に達しなかった。以上により、評価を「2」とした。</p> <p>一方、ビジネス支援セミナー(熊谷)をはじめ、オンライン開催などの工夫を図ることにより、各事業の平均満足度については、目標を達成することができた。</p> <p>*中止=145、オンライン・書面開催に変更=9、期間短縮=3、延期=2</p>				
3 数値目標及び達成状況					
投入指標	県民参加の事業・連携事業(講座・資料展等)の開催回数	目標値	R1年度	R2年度	R3年度
		実績値	370回	370回	370回
		達成率	108%	64%	
活動指標	県民参加の事業・連携事業(講座・資料展等)の参加者数	目標値	14,200人	14,300人	14,400人
		実績値	14,485人	3,824人	
		達成率	102%	27%	
満足度	県民参加の事業・連携事業(講座・資料展等)の満足度*1	目標値	4.6以上	4.6以上	4.6以上
		実績値	4.7	4.6	
		達成率	達成	達成	
*1 県民参加の事業連携事業(講座・資料展等)の満足度: 5段階評価(参加者対象のアンケートより算出)					
4 行動計画及び取組状況					
	取組内容	行動計画(主な取組)			
3-1	多様な機関、地域団体との連携の推進	外部事業への参加等、多様な機関と双方向の連携を行うとともに、地域の課題解決に資するため、地域団体と連携事業を実施する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県よろず支援拠点と共催で県内小規模事業者、中小企業者、創業予定者等を対象にビジネス支援セミナーをオンラインで共催(1月19日、2月9日、2月24日 3回 53人)併せて、同支援拠点定例会でビジネス支援サービス、データベースを紹介(3月1日 31人)</li> <li>加須市商工会「Kazo創業塾」でビジネス支援サービス、データベースを紹介(11月13日 17人)</li> <li>県保健体育課主催「埼玉県がん教育指導者研修会」で健康・医療情報サービスを紹介(10月13日 約150人)</li> <li>県立自然の博物館と連携し、夏休み子ども講座「さがしてみよう!土の中の生きもの」を開催(8月2日 全3回 29人)</li> <li>「情報の探しかた講座」で、新聞社職員、病院図書館司書等、外部講師を招へい</li> </ul>			
3-2	県内各種図書館と連携した「図書館と県民のつどい」の継続開催	「図書館と県民のつどい」開催により大学図書館、高校図書館との連携を深めるとともに、ビブリオバトル等の子供読書関連事業を県教育局担当部署との連携により実施する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	「図書館と県民のつどい埼玉」(12月14日公開用動画収録 ビブリオバトル中止 公開期間:12月16日~令和3年1月11日 動画視聴数:640回、満足度=4.5)			
3-3	県内各地での「子供読書に関わるボランティア」活動の支援	子ども読書支援センターの講師派遣事業を継続し「子供読書に関わるボランティア」活動を支援する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・読み聞かせボランティア団体のための講師派遣(県民団体向け)(派遣先延べ3団体3講座、講師=延べ3人、参加者=延べ30人)			

3-4	「子供読書に関わるボランティア」団体に向けた講師の研修会開催	「子供読書に関わるボランティア」講師のブラッシュアップと講師間の交流を図るための研修会を開催する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・【中止】「おはなしボランティア指導者研修会」(講師養成、交流機会創出) 第1回 2月19日、第2回 2月25日 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	
3-5	高度な知識技能を有した音訳者の育成	研修会を開催するとともに、資料製作や対面朗読活動を通じた技術向上を図り、質の高い音訳者を育成する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・「音訳者研修会」 (8回、延べ71人、満足度=4.4) ・「音訳校正者研修会」(2回、延べ14人、満足度評価なし)	
3-6	体系的な読書活動の支援	放送大学、彩の国いきが大学、公民館の講座などと連携し、履修コースに沿った読書案内カリキュラムを作成し体系的な読書活動を支援する。	その他
	実施状況	・放送大学、埼玉未来大学が設置する各コースの科目構成、内容を担当者で検討 ・資料リスト自動生成サービス「ナラベル」の活用を想定、試用して検証	
3-7	多様な障害を持つ方々に対応できるマルチメディアデージー制作体制の充実	マルチメディアデージーについて、県立図書館での環境整備を行い、制作体制を充実する。	その他
	実施状況	・マルチメディアデージー図書(絵本)制作候補選定(計10タイトル)	
3-8	図書館ボランティアとの連携・支援	各館のボランティア活動を取りまとめるとともに、学習機会の提供の場としてのボランティア活動について検討する。	その他
	実施状況	・熊谷館:おはなし会、翻訳、資料点検、書架整頓等 (88回 延べ113人) ・久喜館:子ども読書支援、映画会、布絵本製作、資料補修等 (139回 延べ196人)	
5 取組による成果	<p>(1) 新規に、埼玉県よろず支援拠点との共催によりビジネス支援セミナーをZoom開催した。このことを契機に、よろず支援拠点での定例会においてビジネス支援サービスの紹介を行うチャンスを得、また関係者に対し、図書館の情報資源の有用性をPRすることができた。</p> <p>(2) 「図書館と県民のつどい埼玉」について、コロナ禍における県有施設の集会行事中止状況を踏まえ、オンライン開催とした。動画視聴数は640回を数え、今後の開催に向け、ノウハウを蓄積することができた。</p> <p>(3) ボランティアについては、新規に翻訳ボランティア(英語)1人を面談(R3年度登録)するとともに、子供読書関連ボランティア等の継続により、県民の自主的な活動を支援することができた。</p>		
6 課題及び次年度取組	<p>〔課題〕</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、社会的な課題やニーズに合った効果的な事業開催の検討</p> <p>〔次年度取組予定〕</p> <p>(1) 連携を活かし、県民の交流機会を創出する事業の継続実施</p>		